

製品名: MAP2K4 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80564**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgM
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	/

抗原情報

遺伝子名	MAP2K4
別名	MAP2K4
遺伝子 ID	6416.0
SwissProt ID	P45985
免疫原	大腸菌で発現した MAP2K4 の精製された組み換え断片。

背景

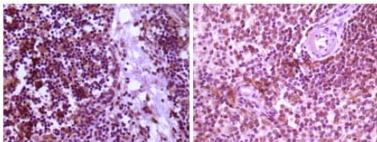
MAP2K4 (ミトゲン活性化プロテインキナーゼキナーゼ 4) は、染色体 17p11.2 に位置し、399 個のアミノ酸からなるタンパク質 (約 45 kDa) で、MAP キナーゼの上流に位置するプロテインキナーゼファミリーに属し、MAP キナーゼの活性化に関与することが

特定されています。MEK-4 (MEK4/MKK4 と呼ばれる) は、p38 および JNK MAP キナーゼの両方を活性化します。MKK4 は、多数の細胞ストレスおよび環境ストレスに反応する、ストレス活性化プロテインキナーゼシグナル伝達経路の中心的なメディエーターです。JNK などの MAP キナーゼをリン酸化することにより、MKK4 は最終的に、増殖、アポトーシス、分化などのさまざまなプロセスを媒介する核転写因子にストレスシグナルを伝達することができます。MKK4 には、発達、肝形成、転移抑制における役割など、明確な生物学的機能があることが特定されています。

研究分野

アポトーシス、TGF- β シグナル伝達経路、MAPK シグナル伝達経路、Jak-STAT シグナル伝達経路

画像データ



パラフィン包埋ヒト胸腺腫組織 (左) および脾臓組織 (右) の免疫組織化学分析。DAB 染色による MAP2K4 マウス mAb を使用して細胞質の局在を示しています。